阿知須町広報
阿知須町役場 発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　中尾　岩雄
編集人　土本　源一
印刷所
宇部新聞印刷所
宇部市東区五反田通
電話1725番

第三回 臨時町議会招集
教育委員の選出ほか二件

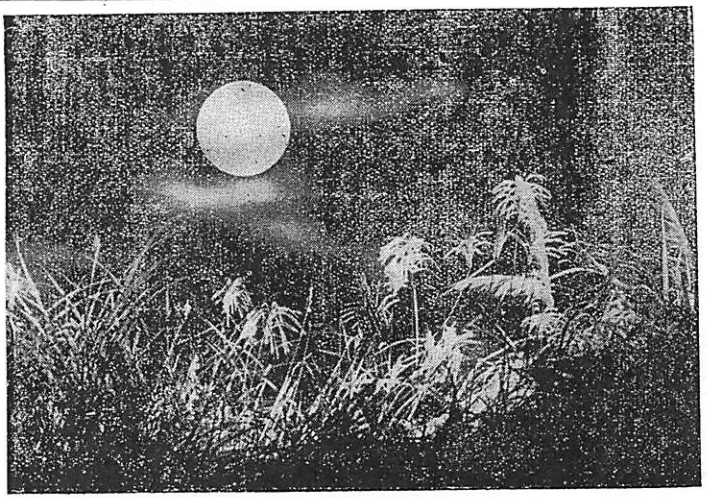
第三回臨時町議会は、昭和三十二年九月二十四日午前九時町議会議場に招集、議員十八名出席（四名欠席）のもと開会、執行部提出議案二件議長提出一件とも、審議の結果満場一致で可決確定した。本日の議案内容は次の通り。

第七十三号議案
阿知須町教育委員会委員の選任について
昨年十月一日法の改正に伴い新発足した教育委員の任期につき、一年制の任期満了委員の選任を行つた結果左の通り決定した

阿知須町浜表五二二七番地　中尾　正一

第七十四号議案
阿知須町有財産一部処分について。
これについては、宇部市善和にある町有林四町一反を、町外にあるため盗伐や、管理上の不便につきこれを処分することになつた。

第八号議案（議長提出）
公有水面埋立の鍛工認可に伴う阿知須町の区域内の字の区域の変更に関する諮問について
これについては、山口県知事から本町細田地先、第八九四一番地埋立地七四九坪九一を、字細田新地に編入する諮問について、本町はこれにつき異議のないことを答申する。



仲秋名月

九月八日は仲秋の名月だが、このごろでは月を見て千々にものこそ悲しけれになつたり、池を囲ぐりて夜もすがらの風流派よりは、月世界に旅行でもしてみたいと思う、科学派の方が盛んになりつつあるようだ。
名月は八月十五日と九月十三夜の月が最も美しい。

青少年によい環境を
不良化防止対策審議会

戦後の混乱は無数の青少年犯罪を生み、昭和二十五年を頂点に、毎年少しづつ減つてゆくというよい傾向にあつたが、昨年ごろからまた、だんだん増加して集団的に、なぐる、蹴る、恐喝、殺傷、暴行、傷害などの集団暴力事犯が目立つた今日、本町では教育委員PTA役員、司法保護司、三校校長、阿知須警部補派出所長を招き町長、教育長、社会課長列席のもとに、青少年育成に関する審議会が九月二十一日午前十時から、町議会議場で開かれた。

（一）青少年は正常な家庭で育成されているか
（二）青少年に知性の向上と品性の陶冶をなすには如何にすべきか。
（三）青少年は個々の能力に応じて教育しなければならないが如何
（四）青少年に悪影響を及ぼす社会環境から、保護してやるには如何にすればよいか。
（五）非行青少年と思われる者は如何なる方法をとり教育指導するか
（六）其の他

をテーマに長時間に亘り、慎重審議を重ねて〝青少年問題協議会〟を設置することになつた。

みんなで扶け合つて
明るい社会を
赤い羽根共同募金

十年一昔といいますが、昭和二十二年に初まつた、国民たすけ合い共同募金運動も、早いもので満十一年を迎えました。
本年も十月一日から一カ月間全国一せいに、赤い羽根共同募金運動が行われることになりました。
昨年もこの運動に皆様の尊い愛情と浄財が集りましたが、
このお金は
生活保護事業、児童福祉　医療保護、民間社会福祉施設、災害見舞、更生保護、等各種の事業に振り向けられて、大きな成果をあげることができました。
このようにしてお互が、浄財を出し合つて集つたお金が、やがて貧困や病気にあえぐ、多くの人達の生活のもとでとなり、それによつて更生への第一歩を踏み出すこともできるのです。
明るい社会を築くために、どうか今年もまた立派に目標額が突破できますよう、皆さま方の変らぬあたたかい、愛のお力添えを心からお願いします。

第四回NHK青年の主張全国コンクール山口県予選大会

◎日時　十一月二十三日午後一時
◎場所　防府市公会堂
◎参加申込〆切　十月三十一日（当日消印有効）
参加希望者は五つの課題のうちどれか一つを選び四百字詰原稿用紙三枚にその主張を書いて八円切手同封の上防府放送局青年の主張係へ提出する。応募に際しては一人一課題とする。参加に当つては学生、勤労青年、勤労学生、農村青年、無職の別を明かにする。発表する者は五分でこれを越えたものは失格
▼参加資格　山口県内に現に居住し、昭和七年一月十六日から昭和十七年四月一日までに生れたもの、学歴職業は問わない。
課題①大人にわかつてもらいたいこと。
②男性から女性へ、女性から男性へ。
③こんな仕事に一生をさゝげたい。
④日本人に欠けていること
⑤原子力時代に思う。

10月の衛生メモ

10日1日　乳児検診
10月2日　ジフテリヤ注射第二回施行　阿小校区域在住者　場所阿知須小校講堂
10月3日　ジフテリヤ注射第二回施行　井関小校区域在住者　場所井関小校構堂
10月9日　百日咳注射第二回施行　全町区域（公民館）
10月20日　百日咳第三回施行　全町区域（公民館）
10月23日　種痘接種第1、2、3期該当者　阿小校区域在住者　場所阿小校講堂
10月29日　同上　井小学校区域在住者　場所井関小学校講堂
10月30日　種痘検診　第1、2期該当者　阿小校在住者　場所阿小校講堂
10月31日　同上　井関校在住者　井小校講堂
いづれも午後1時30分から午後4時まで

種痘検診
十一月四日　第一期該当者
阿知須町全区域　町公民館にて

農業改良普及員の役割

◉県下の耕地は八万三千町歩農家は十三万戸で一戸当り耕作面積は六反三畝ですが、このわずかの耕地で最大の生産を上げるには農業経営の合理化、耕種の改善が肝心です。
◉このため県では、四十二カ所に二百七名の農業改良普及員を置き農業経営の研究、指導援助、耕種改善、農事研究団体の育成強化等々新しい村造りに日夜努力中です。
◉現在まで農事研究団体の育成強化に努めた結果四百五十団体が誕生し、普及員と協力して農業改良第一線の原動力として活躍中です。
◉また一方では農作物の適応性の確認、耕種改善、酪農改善等のため県下三百五十一カ所に圃場や施設を設け、地についた普及活動を続けてきています。
◉このようにして戦後の農業経営は相当に進歩向上し、農村の青年、婦人運動も活発化してきましたが、まだ将来大いに改善する点が残されています。
◉農家の皆さま方で農業についての御不審な点がありましたら、気軽に普及事務所へお問合せ下さい。郵便、電話、来談、座談会、実地指導などなんでも結講です。
◇◇　◇◇

県政だより

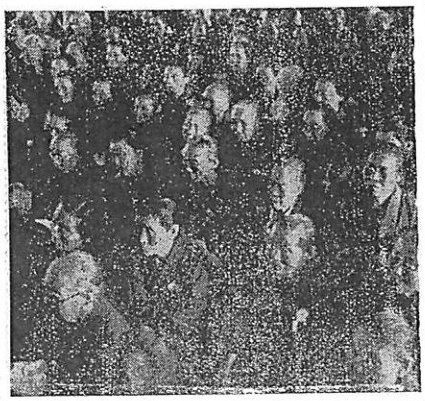
今月のメモ

新聞週間（1日―7日）
秋季交通安全運動
結核予防週間（25日から）
読書週間（27日から）

十一月五日（火曜日）乳児検診日です

お元気で又来年も
恙なく終つた慰老会

本年第七回の「老人の日」を迎え本町では九月十七日午前十一時よりラジウム温泉にて恒例の敬老慰安会を開催、前日の雨もやんで秋晴れの好天気に恵まれ、二百八拾名のお年老が一人漏れなく出席。中尾町長挨拶に続き来賓祝辞の後児童の「老人の日」の作文を阿中校西中泰子さん、阿小校中尾歌子さん、井小校伊藤寛通君達が朗読中尾町長より九十才になられた老人へ記念品の贈呈が行われ、老人者の答辞があつて閉式、昼食後、慰安演芸会の幕が開かれた。永い人生の旅路を健やかに辿つてこられた老人達にとつて、今日が最良の日であるように…と多彩なプログラムで楽しい一日を過して戴き〝また来年も〟との閉会の辞を以て意義ある敬老会は終つた。



『写真説明』
㊤青少年不良化防止対策審議会
㊦敬老会出席のお年寄り

潮

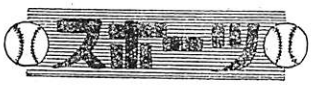
▼「としよりの日」の行事として宇部市では、老人の芸術作品の募集をして、その展示会を開いた。
▼来年は阿知須も宇部なみのことを考えてみるも一興と思うのだが……
▼一歩進めて、書も絵も書いてもらうが、三味線もひいてもらい鰻太夫も謡曲もうたつてもらいふごやむしろや竹籠もあんで、出してもらつたらどうだろう。
▼ピアノやオルガンのひける方に明治調豊かな一曲をひいてもらいたい、太鼓、ラツパも出るがよい。バイオリン等案外としよりに名手があるのではなかろうか。
▼若い者の踊りを見て楽しむもよいが、年老の日に、としより同志で楽しみ合うということは、なおよさそうに思える。自ら踊つて唱つて下さい。
▼この記事にもし御賛成いただけるなら、当局と連絡の上、としよりの中に世話人が出られて、今から来年の番組編成をされたら如何？
▼幾ら鬼に笑われたつて、老人の気短かを永々と笑う程の気の永い、鬼もおりますまい。
▼さて、十月は運動会、お祭りのシーズン。大いに楽しむべきだが、空巣に覗われないよう、特に御注意。
▼それに夏に流行した感冒の返りが、このごろ現れてきはじめた早期の手当が必要です。
▼お隣の山口市は、市長選挙で、革新陣営の候補の立候補を気にしいしい、そろそろ、バタバタ運動展開中。佐山、嘉川は山口市長戦の天王山というところか。
▼宇部の市長選の下馬評もしきりに伝わつてくる。
▼阿知須町民は隣の火事の美しさ激しさに見とれるもよい、しかし政治の粋はなんといつても、市長選にあり。阿知須が両市の政治の圏外ではあり得ない。見とれているばかりでなく、きびしい目でその実体のなりゆきを研究、注目すべき秋である。

吉敷郡青年体育大会

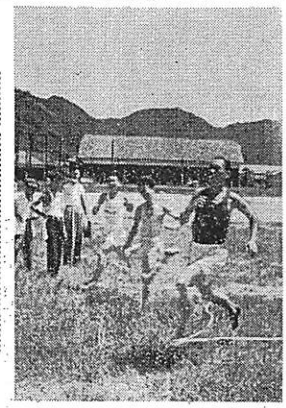
阿連青相撲、剣道優勝

九月一日初秋を飾つて第四回吉敷郡青年体育大会は小郡で午前十時より陸上、バレー相撲、庭球の各部に別れて開催された。本町青年団選手諸君も二年連続制覇を目指し終始健闘したが及ばず、総合二位にあまんじた。本町青年選手成績は。

▼陸上
百米
二位弘中正為（東条）一二秒五
三位田村達雄（砂合）一二秒八
千五百米
一位　藤永行男（砂合）
四分四十二秒二
一万メートル
一位　古谷悦三（引野）
五位　上山　実（東条）
俵かつぎ
一位　福増博人（玉川）一五秒四
走高跳
三位　明徳憲二（浜）
▼相撲部
優勝　国重（向井間）橋本（小古郷）田辺（岩倉）
▼卓球部
二位　三谷松代（浜）細田康子（小古郷）酒井（鴨生原）長尾（岡）慶永（浜）
▼剣道部　優勝
小川（砂合）新田（砂合）吉村（砂合）
弱丸投（女子）
三位　酒井（鴨生原）



女子バレーは準決勝で秋穂チームと対戦21-19 21-18で善戦空しく惜敗した。出場メンバー
細田（小古郷）田辺（岩倉）酒井（鴨生原）伊藤（飛石）松永（玉川）岡村（浜）中本（岩倉）須原（岡）藤永（浜）弘中（赤迫）



（写真）百米決勝の瞬間

▼荷相撲部、剣道部、及陸上の福増藤永、古谷君の三君は県大会へ出場

山口県相撲大会へ
阿連青出場

九月二十六日午後一時より防府市天満宮で行われた県知事杯争奪県下実業団相撲大会—十四団体リーグ戦に本町青年団相撲部員が出場し健闘よろしく六位を獲得した。

先鋒　福増博人　中堅　竹原清
大将　田辺正一

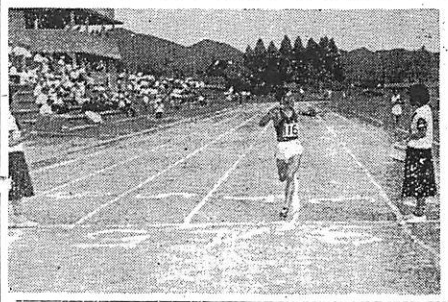
第六回全国青年体育大会

四選手の出場きまる

第六回全国青年体育大会予選山口県大会は、九月二十九日小雨の中、山高ブラスバンドの演奏により国旗掲揚、午前九時より開会、小沢知事、田中副官房長官祝辞の後各種目に別れて競技開始本町青年団も六名参加熱戦の結果、陸上の部、俵かつぎ一位福島博人相撲部、国重久人、橋本正義、田辺正一が一六秒二でこの大会新記録で優勝、また相撲では満一二位の佐名康子（小古郷）酒井（鴨生原）長尾（岡）慶永（浜）

郷土花形選手
金重千之君

県大会新記録で優勝



九月七日八日にかけて行われた山を以てスタート、四百米トラックで厳戦を展開、防府勢のトツプ陣に混つて本町の金重君は前半二位を走破後半トツプを驀つて、そのまゝ独走二溜を約六十米引離してゴールイン十五分五秒六の大会新記録を樹立して堂々第一位を勝ち得た。

写真は堂々大会新記録を樹立した金重君

公民館便り

阿知須井関
両婦人学級

幸坂佐登子講師を招待

九月二十五日、午前九時より阿中校礼法場に於て阿知須、井関、両婦人学級は幸坂講師を招いて講演会を開催「お母さまの幸福はどういう所から育てられるか」をテーマに

◆個人々々が人格を身につけることに努力し尊敬と愛情を以て人に接し合ひ地域社会を明るくする。

子供と話し合うことに努力。

子供と共に生きる。

子供と共に考える。

環境をあたためなから毎日の努めを真面目に送ることを幸福のみのりとかろう。

人間は常に謙虚な気持ちにして幸福を喜ぶ、幸福とは平凡なものをいう。

子をもつて知る子の恩ゞ自分の幸福をつかむものが人生、毎日の生活が大切

今日がよくなることを明日がよくなる堅実に広く明るく、温かく送れるような生活こそ大切である。さうすれば、自分の道を子供はみなうけついでいくようになる。

寡固地の性格は子供を堅くさせる。

助け合つて、ゆずりあつて、感謝の日々を送ることこそ大事である。

家庭を明かるくすることをお互いの円満な性格より始めてなり

幸福は不幸を体験してこそ始めてわかる

等約三時間ゞ亘り講演された。

「写真は幸坂女史の講演会」

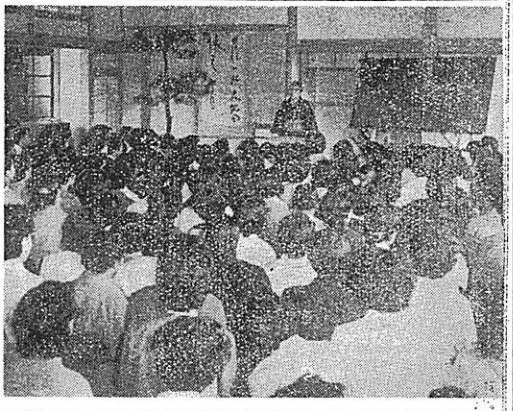
阿連青
県芸能大会出場

惜しくも第二位となる

九月八日午前十時より山口県庁内会の出場を逸した。日を追つて寄ばえる町青年団の育成に町を挙げて御協力下さい。

職員会館に於て開催された第六回全国大会県予選芸能大会に吉敷郡代表として本町連合青年団が出場劇の部で"故郷の歌声"を熱演、第一位の厚狭郡代表に僅一票の差で第二位となり惜しくも全国大

出演者、村上鴨生原）松浦（砂合）福増（玉川）谷川（細田）酒井（鴨生原）小松（鴨生原）の諸君



寄贈図書案内

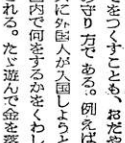
寄贈図書
著者
❶美貌の檻　大林　清
❷胸より胸　高見　順
❸デカメロン（一）ボカッチオ作　野上紫一訳
❹デカメロン（二）野上紫一訳
❺がま　徳永　直
❻お化けの世界　坪田譲治
以上、門松、藤井ハル子氏寄贈

千字一話

反省

孔子は「三十年にして立ち、四十年にして惑わず、五十年にして命を知る」と述懐したが現われわれの在り方は、二十年も前の人々に、恥しく感じるものが、ありはしないだろうか、通常五十年と言われる人生を活において、わが生涯悔なしといえるものがどれほどあるかということを、静かに考えて見たら、先ず、或人が、しみじみ語つたところによると、十数年来誌してきた「心の日誌」に今日ごそ悔なしと言ひ得る日は、僅かに五日しかなかつたとのことである。日々の生活記録を十数年来誌してきた根気もさることながら　悔なき五日をもち得たというそのことに、私は深甚の敬意を表したい。

われわれ凡夫の日常生活というものは、得手して愚鼻ふんぷんとして、全く鼻もちならないのが普通である、その上に何等の反省も伴わないときては余く処置なしである。三十にして立たず、四十にして惑い、五十にして惑わよいよ弱くなるに至つては、人間としての、存在価値まで疑いたくなる、日く、文化国家の建設、平和国家の建設等、なんと言つても、人間としてのこの徳は、一歩も前進しない。学校で学んだことばかりではない。学校で学んだことを今一度家に帰つて考えることを幾度か繰返すことにより、劣等生も優等生になり得る可能性も多分にあるというもの、読書において亦然り、凡ゆる本を熟読玩味することなく、よくよくかみしめ、反省してこそ、始めて自分のものとなり得るのであつて、われわれの常に念願してやまない真の平和も、即互の真摯な反省なくしては、何時迄経つても望めないだろう。



にしてなごやかな町造り町造りも単なる上滑りの形式の上に立つものであれば、いわゆるすべてが、小手先だけのことにおわり、さむざむとしたバラツクの文化住宅も同然、実に、住心地の悪さをなげき嘆かざるを得なくなる、お互いに住みよい社会を生みだすためには一人一人が立派な人格を持たなければならないことは言うまでもない。

そのためには、あらゆる姿態を、払拭して、孔子の言葉を、今一度かみしめて、見ることも無駄ではあるまい、そんな古いことは出さと、いつてアえば、それまでゝあるが日記は日毎の反省録であり、人生コースを画く歴史の一駒をなすのであるが、なかなかそれを続ける人は極めて稀である。而も日記は人生行路の勤惰計であり心の明暗計である。反省なくして人として

阿中校十月行事予定

一四日	郡内校長会数師会
一八日	十周年記念展示会
二一日	県中体連体育大会
二二日	職員研修会
二六日	中間テスト
八日	郡中体連陸上競技大会予供会
一三日	第六十三回定期総会
一九日	参観日
二四日	吉佐宮内小学校長集会
二八日	種痘（六年）

阿小校十月行事予定

一四日	郡内校長会数師会
一八日	十周年記念展示会
二一日	県中体連体育大会
二二日	職員研修会
二六日	中間テスト
七日	運動会予行

山口県観光土産品審査会へ
本町より四点推せん

観光地サービス向上の一端として観光土産品の振興を期するため第二回推せん土産品審査会が去る九月二十七日山口県職員会館にて午前十一時より行われた。本町より村田吉助氏（中村区）製造の"三鳴宋助氏（西条）製造の"温泉頒布及び温泉堂最中"と"温泉乙女"けし人形"四点を推せん出品した。

随想
国連デーに憶う

☆国を守るとは☆

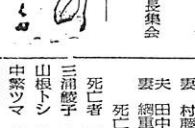
国を守る、ということを日本では、とかく武力や実力の行使だけに限つて考えたがる習性がある。

然し国民の日常の経営生活を、外国人から乱されないように、手だてをつくすことも、おだやかな国の守り方である。例えば、スイスに外国人が入国しようとすると国内で何をするかをくわしくきかされる。ただ遊んで金を落して去るのなら大歓迎されるが、スイス国内で生活費を稼ぐような仕事をするのだと入国を拒否されるからに一人の外国人が料理屋のコツにでもなれば一人のスイス人が失職するからだ。何商売にかゝわらずスイス国民の生活が、外国人によつておびやかされるのである。スイスほど人口もふく生活程度がたかくても、何かつこれ位細心な予防措置をこうじて国民生活の安定を守ろうとしている。

それに比べると日本の現状はどうか、観光客は別だが、アメリカ人や中国人、朝鮮人、其の他雑多な国の人が、たくさん日本にやつてきて定住し、あらゆる種類の商売を自由にしている。その日本が、ひろく富んでいるかというとそうではない。国土は米国のカリフォルニア一州にもたらず、人口は米国の半分以上に達し国内が複雑で車そのまゝであり、そして貧しい。人が多いのにそれだけの仕事の量がなく仕事にあぶれた労働者が、町に村にあらわれている。そして年がら年中、行政整理だ、企業整理だと首切りに頭をなやまし、それでストをやつて仕事を休んでいる。ひとつもうかる商売があると皆それをまねして共倒れになつてしまう。一人の外国人が中華ソバ屋を経営すれば一人の日本人のソバ屋がそれだけ客をうわばれ、一人の外国人が日本商社に就職すれば、何人かの日本人が失職する勘定でもある。それは経済的な意味でいうのでは毛頭ない。せまくて人が多くて貧しい日本として、これ位の自己保存の措置をするのが当然相応の事なのである。

幸ラインに、フリーゲート船を出すことばかりが国を守ることではない。自衛とは武装することだけではない。平常の国民の生活を外から乱されぬようにする事が、平常的な国の守り方なのであり外国にもわかつてもらえる性質の事である。

たばこは
町内でお買求め
ください



出生の部

父　綱網　出生児　部落
兼重　一二女　泰子　赤迫
沖永　貴二女　桂子　小西
秋山公人　長女　真弓　小南
呈瀬定雄　二女　礼子　飛石
礎中忠一　二男　泰蔵　河内
原田　安　長女　真蔵　引野
沖永幸夫　長男　浩一　小西
福間弥蔵　長女　真澄　細南
河村照夫　長男　郁夫　細北
正司實徳　長男　健一　細北
池田敦治　二男　泰之　砂三

婚姻の部

夫　原田恒男　宇部市
妻　片山幸枝　河内

夫　田辺利有　築港町
妻　村藤智子　南祝
夫　田中繁　飛石
妻　細重節子　細南

死亡の部

死亡者　死亡月日　年令　部落
三浦鰻子　8月21日　33　浜
山根トシ　9月1日　82　杖川
中繁ツマ　9月2日　89　中村
藤田スミノ　9月7日　66　野口
村岡勇吉　9月10日　65　砂二
竹代弥治　9月12日　49　赤迫
芥川彦助　9月13日　58　引野
谷原国男　9月18日　54　浜
片山出登　9月19日　1　北祝
友永マツノ　9月22日　64　築地

九月三十日締切

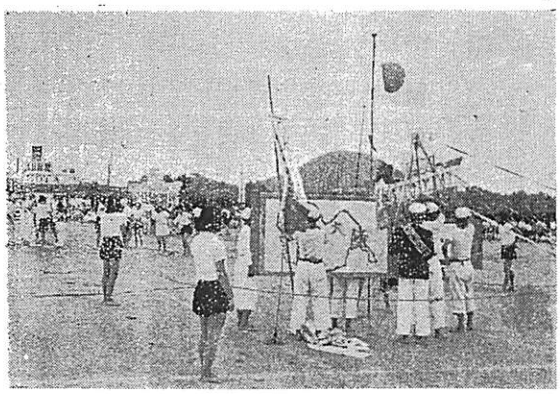
小雨は降つたか……
楽しかつた運動会

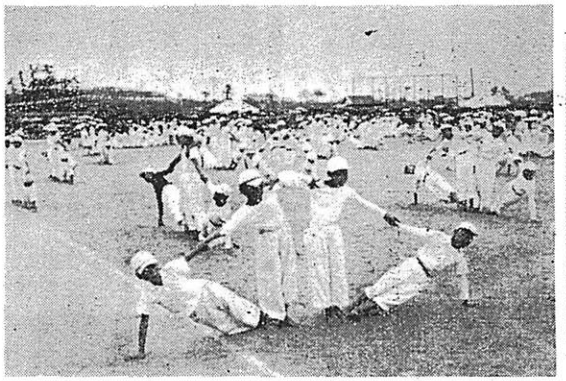
朝夕の涼しさは、ひとしお肌にしみて、もうすつかり秋は深くなつた。灯火親しむ読書、澄んだ空のもとスポーツ。いまや絶好の季節九月二十二日どんより曇つた中に爆火一発運営警鐘われり阿中校庭大運動会が華々しく開始された。十周年記念とあつてグランドの装飾も満点、応援団も始めてお目見得し、大行進は阿中校史上最高の出来栄えで近郷に比類なき絶賛に価いするものであつた。午後は段々興味が深くなり、一般の綱引競走を始め、綱引は男性軍対女性軍のいどみあい、ヨイショヨイショの掛声も勇ましく数分間引きあつたが男性軍があつけなく負けてしまつた。女性軍は重心の関係で勝つたんだ〝とは口の悪い男性軍の声、また一般鈴割りでは〝江戸の仇は長崎で〟とばかり意気込んだ甲斐があつたか男性軍が勝つた。哀いの内に大会呼び物の職員生徒組別リレー。部落別九〇〇メートルリレー。生徒組別リレー等が始まるや、応援団の熱狂は勿論、満場を熱狂のルツボと化した。全生徒体操の後午後三時四十五分より閉会式を挙行、松田校長先生より賞組に総合優勝カップの授与があり、中尾町長の音頭により万歳三唱の後、御旗降下をもつて後三時五十二分、有終の美を飾つた運動会の幕を閉じた。当日の主な成績は…

職員生徒組別リレー
一位　白　二組
二位　紅　二組
三位　黄　三組
四位　緑　四組

部落別リレー
一位　砂飛　チーム
二位　中西　チーム
三位　岩倉　チーム
四位　細田　チーム
五位　鴨生厚　チーム
六位　引野　チーム

総合得点
黄組　一五二
白組　一四八
紅組　一二七
緑組　一五





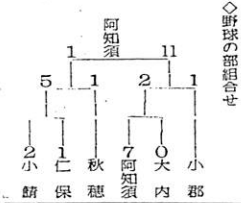
当応援団の順位は
一等　赤　組
二等　黄　組
三等　緑　組
四等　白　組

〔写真説明〕阿中校運動会における綱引競走　㊁ダンプリング

中体連秋季大会
野球、女子卓球優勝　阿中校

九月二十八、九日にかけて行われた中体連秋季体育大会は、野球は阿知須でバレー、庭球は秋穂で、卓球、相撲は仁保で陸上は小郡の各会場に別れて競技開始、陸上は雨の為延期となつたが、野球では阿中校が名門にふさわしく堂々たる勝ちつぷり、又バレーでは男子が優勝の呼声だけに終り伏兵秋穂中に破れ、女子はデタ・ボンの汚名を返上、準決勝に進出小郡と大接戦を演じたが及ばず、卓球は女子チーム相変らず抜群振りを発揮個人戦で細田登久江さんが一位となり相撲では県体に二名出す成績庭球は総当りで二位を収めた。

◇野球の部組合せ



八十二歳の老閣下
鈴川太郎右衛門翁

従六位勲五等功六級

翁は明治九年二月故小二郎氏の三男として生れ、呉海兵団に入団永年瀬宣生活をなし、日露戦後の折に乗組み九年中尉、十二年大尉に進級、昭和二年退役となつたが、三十三年間に亘つて軍籍にあり、その後同盟に乗組、同三十三年北清事変に参加、日露後には一等兵曹として旅順攻撃に加わり三十七年三月第二回閉塞隊決死隊員として、広瀬中佐、杉野兵曹長と共に十七名を以て活躍した人で、日本海々戦にも参加し、大正六年特務少尉に任ぜられ後主として海水雷術の研究に従事し、日露戦後の折に乗組み九年中尉、十二年大尉に進級、昭和二年退役となつたが、三十三年間に亘つて軍籍にあり、その後同盟に乗組、同三十三年北清事変に参加、日露後には一等兵曹として旅順攻撃に加わり三十七年三月第二回閉塞隊決死隊員として、広瀬中佐、杉野兵曹長と共に十七名を以て活躍した人で、日本海軍の名誉、常盤〝受領に出張し少尉に任ぜられ後主として海水雷術の研究に従事し、日露戦後の折に乗組み九年中尉、十二年大尉に進級、昭和二年退役となつたが、三十三年間に亘つて軍籍にあり、その後同盟に乗組、同三十三年北清事変に参加、日露後には一等兵曹として旅順攻撃に加わり三十七年三月第二回閉塞隊決死隊員として、広瀬中佐、杉野兵曹長と共に十七名を以て活躍した人で、日本海軍の名誉、常盤〝受領に出張し

かつて消防組長、農事組合長、村会議員二期の公職も果された人若き時代の趣味はもつぱら狩猟だつたとのこと、りつぱなひげも一年前そられた翁に日露戦争の思い出はと聞えば、やはり広瀬中佐と共に旅順軍港で活躍したこと、乃木東郷の会見に参列したこと、旅順開城の際列席したことなどそう〝つどうも〟の挨拶だけは、年にだ。今は甘いものをたべることだ（位合わすやつぱり老将軍の威厳がけがもつぱらの話題お別れの「や」余韻嫋嫋）

文芸
第十三回歌会作品（順不同）

北祝　部坂　信子

あらくさに光る露みち行きながら断ちがたき吾が想いをたとる

寺河内　乗直　きぬ

集金なりて帰る夕路に鳴しとど鈴虫の音もわれに翅しく

砂合　西中　正之

終電車いでゆけば扇風器を出ふままま廻して切符の補填をつづける

旦　益弘喜久子

姪と呼ぶには切々しけれ晃まもれば眠りしままに片寄ひせる

旦　植村トシ子

咲き終えしダリアをみつつ今日あたり故郷に便り書きしと思ふ

旦　益弘　吾一

酔痴れて終電駅に目覚め醒く夜泣きそば扇の面のあはれを

飛石　河崎　幾代

人乗せてバス去りゆきし雨の中翠き轍に水溜りゆく

浜区白木美枝子

旅程の父持つ孫への便には百円札を挟み入れおく

浜区是枝　英雄

吾が膝ふめぐりを残し松葉かき色白き少女去りてゆきたり

第十四回短歌会予告

◎場所　町公民館二階
◎日時　十月二十二日（火）夜七時より
◎題草　雑詠二首以内を十九日までに町教育委員会宛送付のこと
◎歌を出されない方も遠慮なくお出で下さい。
◎短歌会について要望がありましたらお知らせ下さい。

第一回山口県広報写真コンクール作品募集

応募規定

題材　山口県の産業、観光、運輸交通、建設事業風俗、民芸資格　制限なし作品は台紙なしでなるべくサイズ四ツ切以上応募に必要事項を記入の上裏面に貼付のこと

締切　昭和三十二年十一月二十日

発表　十二月中旬新聞紙上に発表（当日消印有効）

届先　山口市山口県庁総務部学事広報課広報写真コンクール係あて

吉山連合畜産共進会
開催さる

第二回吉山連合畜産共進会は九月三十日小郡家畜市場で盛大に挙行せられた本町から出品の家畜はそれぞれ次のような成績をおさめた。

役馬　二等　勝村敏夫
和種種牛　二等　小林繁
役牛　三等　兼重隆
乳牛　四等　井本豊
種牛　二等　渡部融
三等　師井育造
種山羊　三等　勝好孫一

以上の様な成績で上位入賞がなかつた事は残念だが他地区が非常に畜種の改良に不断の努力をなしている事がうかがわれる。〝ローマは一日にしてならず〟の格言通り家畜の改良も日常から畜産を農業経営の中に取入れ安定した農業を営むといつた方向に前進し尚一層の御努力を望む。

今月の農作業

▽水稲
◎落水気に注意しましよう。
出穂後二十五日ごろまで水を落さないように。
◎刈取りはやや早目に。
◎乾燥は充分に。

▽麦
◎種子消毒を励行しましよう。
薬剤を水一升に溶かし三十分一時間浸す。
◎種まきは遅れないように。

▽蔬菜
◎病害の防除は徹底して行いましよう。
播種は適期を逃がさず。

戸籍が改正されます

日本国新憲法施行前までは家を主体とした戸主権制度の戸籍であり三十日小郡家畜市場で盛大に挙行ましたが、新憲法施行され民法戸籍法の改正により個人の尊厳と男女の平等を基礎として「一つの夫婦およびこれと氏を同じくする子」。配偶者がないかたについてあらたに戸籍を編成するときは、「そのかたおよびこれと氏を同じくする子ごとに」編成されることになりました。

トピックス

◆九月二十二日三日の両日宇部記念館で行われた石井好美舞踊研究所第十一回発表会は、一部童謡舞踊、二部小品集、三部民謡バレーにわたつて可愛い踊り子たちが熱演、本町より、勝村富美子、穂田宇多子、泥見芳花、篠田啓子、中川通子、福田澄江、国吉やすえ、井上妙子、浜崎純子、浜中絹子、新谷博美、磯村真利恵、蔵田悦子重村澄、安部昌子、中原寛子、大池裕子、木屋照美、大浜陽代、田中久子、古谷千穂子、徳田和恵、西村純子、徳田陽子、八木久江、金光京子、村田都の踊姿が出場好評を博した。

◆九月二十五日一時より町農会館場で昆生宏農会が行われた。

◆九月二十五日小郡にて吉敷郡町会議員研修会があつた。

◆九月二十七日午後三時より公民館にて区長会議が開かれ共同募金について打合わされた。

◆九月二十二日、中国都市対抗野球小郡地区予選大会に阿中Bチームが出場、一、二回を除く勝ち抜き優勝戦に臨み、善戦空しく一対〇で惜敗した。

話題

◈窓ガラスのワレタのが多いこと

阿小校の校庭に行くと、各校舎の窓ガラスのワレタのが多いのが目につく。運動場を使用する一不心得者の仕業が一番多いらしい。一日一枚平均位ガラスをワツテ知らぬ顔をしている者がいるという。

最近スポーツのシーズンとて練習に励むのは、よろしいが、運動場の使用許可を、その日その日に得て、然る後に練習すべきだ。又ガラスをワツたら素直に其の旨を先生へ届けでるのが当然である。

自分達の母校ででもあろ校舎の一部分を破つても、平気でいる者またキヤツチボールの相手がいないといつて、二階校舎の壁にボールを何十回もたたきつける者、その人たちは果してスポーツマンであろうか。そんな人間は本町には一人もいない筈だ。次代をになう青年等がこんなことでは、将来が思いやられる。青少年各自に強い反省をうながすと共に、また私たち町民各自がお互いに注意し合つて明るい社会をつくりましよう。

◈我輩は銀猫である

小春日和の陽ざしを受けて我輩はこんころ良く寝て居ると、人間がカメラを持つてゆり起した。

我輩は九月始め女房を防府に残して単独当町へ引越した。我輩の主人は（岩倉の中本孝一さん43才）温行篤実でよく家族と共に可愛がつてくれる。

我輩の名は、ペルシヤ猫という。どうぞよろしく。身の丈二尺五寸胴まわり七寸、尾の長さは自慢ぢやないが九寸五分、最近左目を痛めて、白いきれいな目が茶色になつて痛むので、主人や家族に目薬をさしてもらつて居る。近頃だいぶんよくなつたが、またまたその上側におできができた。これは本町自慢のラジウム温泉に通つたら癒ると思う。ちなみに我輩の値段を聞いてみたらニヤンと時下二万七千円位だと。

◈部落と青年の集い

九月十八日、午後八時半より砂合公民館に於て、部落と青年の懇談会が開催された。部落より一、二三区の幹部拾数名、青年団より五名が列席

イ、青年団行事に関する経費の援助

ロ、年中行事に関する経費の援助

ハ、明るい町作りに対する意見交換

ニ、青年団に対する要望

等をテーマに三時間半に亘り融和な雰囲気の内に活溌な意見が種々交換討議され最後に青年団に対し修養団体としての発展を望み、且亦青年団各自の自主性を強く要望され有意義な懇談会は終つた。

◈応援合戦

阿中校運動会は小雨もいとわず九月二十二日に行われた。当日一番人気を得たのは、仮装行列ならぬ応援団、当校開校以来初めてだ。成績も内容的も非常に良かつた。会社や事務所の運動会にもよく応援団を見かけるがそれに負けない位によくやつた。赤組の羽織ハカマの応援団長を筆頭に各種の応援合戦が華々しく、競技に影響する位の熱演振り、タイコの音、バケツの音、拍手入り乱れて我軍勝利に手伝う、中でも青組の応援団長は形勢悪化と見るや、マリリン・モンローならぬ応援団長飛入り交代その熱演振りには観衆の目を一時、一身に集めていた。

◈〃環境清美〃勤労奉仕、婦人部隊活躍

どんより曇つた秋空のもと、阿小校PTAでは、九月二十六日、岩倉、飛石、西条、砂合、浜、九月二十七日、寺河内、中村、縄田、東条、小古郷、に分けて校庭清掃を行つた。此の日トラツク二台、三輪車八台を総動員して南校舎前を埋立、砂場の移動を行い、グランドの凸凹をなくし、来る十月中旬の大運動会に備え、汗と愛情の奉仕をもつて二日間の事業は無事終了した。【写真は㊤ペルシヤ猫㊦PTAの勤労奉仕】

阿知須中学校　創立十周年記念事業について

委員長　山本忠男

阿知須中学校創立十周年記念事業については町並びに町民の皆様より多大の御寄贈を賜はり、まことに有難う御座いました。

今回の皆様の御寄贈なりました全額についての会計監査を九月五日に受けまして次の様になりましたので御報告を申し上げます

（一）会計報告

一、阿知須町より二〇、〇〇〇円

二、阿知須町民全体より及び町外を含む六三四、七三〇円（未収金五、四〇〇円を含む）

合計　六五四、七三〇円

（二）支出の部

項目	予算額	九月四日までの支出額	今後の事業の額及内容について
一　記念式	六〇、〇〇〇	八一、〇八九	一応終了
二　体育費	五〇、〇〇〇	四九、六〇〇	継続中
三　学芸会	二〇、〇〇〇	一二、五〇四	一応終了
四　展示会	一〇、〇〇〇		今後入要
五　記念植樹	五〇、〇〇〇	二四、二一一	
六　沿革史	四〇、〇〇〇	一、〇九二	今後完成え
七　教科教室	五〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	継続中
八　丹吊床	三〇、〇〇〇		今後入要
九　教育課程	二〇、〇〇〇	一、八〇〇	継続中
一〇　教育研究会	一五、〇〇〇	三、六八〇	継続中
一一　旅費及雑費	五五、〇〇〇	三九、四九六	尚少額必要
合計		二二六、四七二	

現在までの支出額上記の通り

（三）残額について

①計画事業の終了しないものは引続き予算額で事業を行う

②残額中拾万円は建設資金として預金し、今後の建設費以外は使用しない（預金完了）

③残額中

イ、五万円は文化施設費に充てる

ロ、五万円は体育費に充てる

ハ、後は計画事業並に学校経営に関する事項に充てる

イ、ロ、ハ、学校長に一任する

右の通り中間報告を申上げます

阿知須中学校創立十周年記念事業委員長　山本忠男

阿知須中学校創立十周年記念事業についての感謝

学校長　松田福信

今回十周年記念事業については町及び町民の皆様よりまことに多額の御寄贈を賜はり感謝に堪えません。「阿知須中学校創立十周年記念事業委員会」を組織されて全く昼夜を分たず御奔走を戴きまして予想もしておりません程の多大の御寄贈に対して町民の皆様から寄せられました「阿知須中学校教育の建設」についての御熱意の程深く感謝申し上げます。私共職員の感激はまことに深いものが御座います。益々責任の重大さを感じ「中学校教育の為に尽力の覚悟」でございます。比処に紙上を借りまして厚く厚く御礼申し上げます。

正しい通行と安全運転を

毎年恒例の秋季交通安全県民運動が今月行われます。交通機関の発達によつて、私たちの社会生活も非常に合理化されてきましたが、こうした反面交通事故もこれに負けず年々増える一方で、一向に減る様子がみられません。交通事故を防ぐには、なんといつても車の運転者や、歩行者一人一人が交通規則をよく守り正しい交通を実行する以外に方法はないのです。少くともお互次のことを心がけましよう。

（歩行者は）

▼道路の横断をする時は左右の安全を確めてから

▼踏切では必ずとまつて安全を確認する。

▼歩車道のある道路では必ず歩道を通る。

▼幼児には保護者がつき添う。

（自動車は）

▼速度制限を守る。

▼追い越しは正しい合図をして前車の右側を追越す。

▼徐行区域では必ず徐行する。

▼無免許運転は絶対しない。

▲飲酒後や体の不調の時は運転を遠慮する。

▼始業点検は綿密に励行する。

〃先ず注意　車こないか　通れるか〃

大丈夫！だがもう一度右、左

人事発令・異動

九月二十四日付　辞令

阿知須町事務吏員　高野澄子

願いに依り阿知須町事務吏員を解く

九月二十七日付

阿知須町経済課施設係長　飯田宏史

阿知須町経済課施設係長を解き阿知須町総務課庶務係長兼経済課施設係長を命ず

阿知須町事務吏員　田辺勝

阿知須町議会勤務を命ず

阿知須町事務吏員　田村三正

阿知須町総務課勤務を解き阿知須町社会課勤務を命ず

阿知須町事務吏員　田辺勝

阿知須町議会書記を命ず

十月一日付　辞令

阿知須町五二二七番地　中尾正一

阿知須町教育委員会委員に任命する。

寄付一件

一金壱千円也

兵庫県朝来郡和田山町　伊藤健治

右は町広報郵送料として寄付

声

〃立小便〃

S部落を通つていると、随分お行儀の悪い子が多い。或る日、四年位の児童が人の前を横切り隣の家の塀に近づいていきなり立小便、それも塀は、かんなの目も真新しい近日作りかえた塀だ。その家の人が見たらどんな気持だろうか。小便する子の親が見て黙つているのだから、ほとほどあきれる。犬ではあるまいし、親も良く注意すべきだ。自分の家に便所位はある筈だ、せちがらい世の中だからどうでもよいというような態度も考えもの。この一動作だけで人間の価値は零に等しいと言つても過言ではあるまい。学校の先生もそんな事は教えていないと思う。まして之れを観光客から聞いた時には、本当に情なかつた。今や観光阿知須の名も漸く県下に聞こえ始めた矢先、こんな不愉快極まる話があるのは実に遺憾である。

（一勤労青年）

農繁期につけこむ　アキスに御注意

秋のおとずれとともに、農家の皆さんにとつてはうれしいかり入れ時がやつてきました。稲刈、麦まきと農家にとつて一番忙しいときですが、このような時はひる間のつかれや忙しさのあまりに、つい戸締りを忘れがちなものです。こうした油断やすきをねらうアキス、忍び込み、押売りなどが増えてきます。そこで農繁期に多いアキス、忍び込みや、押売りなどをどうして防ぐか二三予防心得をあげてみましよう。

▼アキス狙いには留守番が最も安全です。

一家総出で田畑にでて家をあけるときは、まず留守番をおくことが大切です。もし留守番をおくことができないときは戸締りを厳重にしておくことです。

▼多額の現金や貴重品は手許におかないように銀行に預けるとか一ケ所に保管しないで二、三カ所に分けてしまつておくことが大切です。

▼窓ぎわや出入口に近いところや縁側など外から見えたり一歩中に入れば目につく場所に衣類、貴重品をおかないように注意しましよう。

▼押売りに対しては、はじめから「買わない」とはつきりした態度をとり、品物をひろげさせたり値段を聞いたりすることは禁物です。そして屋内に入れないように注意しましよう。

泣きごとに同情したり、おどかしにおそれずまた無用な言葉をかけずにことわるのが最もよい方法です。もし押売りが来たときは隣近所に連絡して大ぜいの力で追返すことも予防のコツです。

▼もし被害にかかつた時はすぐ警察に知らせましよう。

小郡警察署

今月は町県民税

第三期分の納期限です

お忘れなく納期日までに

おさめましよう

家庭欄

栄養手帳

〃白米に強化米を〃

私たち日本人は米に対する執着を断ち切ることはなかなか困難のようです。このことを私たちの食べている総カロリーから考えてみましてもお米が占めている率が非常に大きく、配給量だけでも総カロリーの六十%にもなり更に希望配給やヤミ米、小麦粉等その他の穀類を加えますと、総カロリーの八十%にも達しており、どんなにお米が私たちの食事の中で重要な位置におかれているかが分ります。

また同じお米でもおいしく消化吸収のよい白米が一番尊重されていますが、この白米を常食としていることに原因して、日本人の栄養欠陥の一つであるビタミンB1欠乏症が多く現われてきています。

つまり疲れやすい、だるい、食欲がない、心悸亢進、ひいては脚気となるのですがこのことは特に梅雨期をすぎ暑さに向うにつれて目立ちます。何故白米をたくさん食べるとビタミンB1欠乏症になるのでしようか、これは白米に限らずその他製精された穀類や砂糖等の食品でも同様ですが、これらの食品の主な成分である含水炭素が消化吸収されて体内で完全に活用されるには、ぜひともB1が必要なのにもかかわらず、白米のB1は玄米の時の約四分の一に、七分搗米の二十五分の一にも減り、更にとぎ洗いし、御飯に炊くと残つていたB1の約二〇—四〇%も失われ白米の含水炭素を完全に利用するだけのB1がなくなつてしまうからです。

しかしこのことを知識として私たちが納得出来ましても、食糧が豊かに出廻りますとどうしてもおいしいものへと流されやすく、麦飯や七分搗米が栄養的によいと知りつゝもなかなか生活の中に溶けこむことができませんでした。そこでビタミンB1の欠乏症を招かずその上おいしい白米を安心して食べていても広い道の真中を歩むような自信に満ちた健康生活ができるようにするためには、一定量のビタミンB1を白米に充分にしみこませ、更に米粉の中にB1がよく保留するように膜をつくり、これを一人当り一グラムの割合いで白米をまぜて食べれば必要なB1をとることができるように作つた。いわゆる強化白米ができてきました。日本人は穀類をたくさん食べているのでなんといつても穀類にビタミンB1を強化することが一番よいようです。学校給食ではビタミンB1やカルシユウム等を強化した小麦粉を使つてパンを焼いています。強化米を入れて炊いた御飯はビタミンのくさみもなく、そのうえアミノ酸が入つているので御飯をいつそうおいしくしてくれます。私たちは栄養がかたよらず直ぐに健全な体を保つ上からも毎日の生活に大いに強化米等の強化食品を使いたいものです。

＝祈五穀豊穣＝

北方八幡宮

感謝秋祭り

10月5日—6日

編集後記

区長さんへ、係りの手落ちで広報の枚数が違つた時は、不足の分は至急係迄御足労して下さい。又余りましたら。済みませんが持つて来て戴ければ幸甚です。

尚最近一般の皆様からの投稿がありませんが、明るい話題、建設的な記事なら、何んでも結構ですから毎月末迄に御寄稿下さいますよう係はお待ち致して居ります。

（無記名はいけません）